

極域データの保全・公開と利活用に関する研究集会

日 時： 2021年（令和3年）1月15日（金） 13:00～18:00

場 所： Zoomによるオンライン開催

概 要： 本集会では、オープンデータ・オープンサイエンスに関する最新の国内外の状況を踏まえ、極域科学に関連するデータ活動、特に極域関連のデータベースやデータシステム、及びその公開手法、またデータ共有（相互利用）・データ引用・データ出版・データジャーナル等について、データの長期保全・公開の現状・問題点や将来計画、並びに極域科学研究進展のために望まれる機能等について意見交換を行う。また、極域の多様なデータセットを利用したデータサイエンスの研究について紹介し、極域科学の各分野におけるデータ関連研究の現状について相互理解を深めると共に、近未来の展望について議論する。

プログラム：

【所属：記載無しは、全て「極域環境データサイエンスセンター（極地研兼務）」】

【ROIS-DS-JOINT：データサイエンス共同利用基盤施設 公募型共同研究】

13：00～ はじめに：集会の主旨と概要

13：05 - （各15分以内、質疑応答を含む）

進 行：金尾政紀

- 極域環境データサイエンスセンターの活動報告 門倉 昭
 - 北極データアーカイブス（ADS） 矢吹裕伯
 - 統合データサイエンスプラットフォームの現状 田中良昌
 - 極域データの国際連携に関する最近の話題 金尾政紀
- （休 憩）

14：20 - （各15分以内、質疑応答を含む）

進 行：門倉 昭・田中良昌

- 南極昭和基地大型大気レーダー（PANSY） 西村耕司
- 昭和基地宇宙線観測データのためのリアルタイム・アーカイブシステムの構築
【ROIS-DS-JOINT 2019-2020】 加藤千尋（信州大）・片岡龍峰（極地研）
- 昭和基地で取得した1-100Hz帯ELF磁場波形データの共有と可視化
【ROIS-DS-JOINT 2019】 佐藤光輝（北大）
- NOAA/AVHRR 雲画像を用いた降雪をもたらす雲の検出法および降雪量の推定
【ROIS-DS-JOINT 2019】 鈴木香寿恵（法政大）
- 固体地球科学データの相互利用・統合解析に関する諸問題
【ROIS-DS-JOINT 2019】 名和一成（産総研）
- 全地球電気回路研究のための地上大気電場観測データのデータベース化とデータ解析

システムの開発

【ROIS-DS-JOINT 2020】

鴨川 仁 (静岡県立大学)

(休憩)

16:00 - (各 15 分以内、質疑応答を含む)

進行: 矢吹裕伯・西村耕司

- 機械学習を用いた南極氷床における表層積雪の堆積削剥パターンの分類手法評価

【ROIS-DS-JOINT 2020】

杉浦幸之助 (富山大学)

- 極域地球科学データの Wiki による情報共有システムの構築

【ROIS-DS-JOINT 2020】

橋本真美 (地震予知振興会)

- 昭和基地地震観測網を用いた機械学習による震源決定法開発

【ROIS-DS-JOINT 2019-2020】

坪井誠司 (JAMSTEC)

- 南極インフラサウンド観測データ収録公開システムの構築

【ROIS-DS-JOINT 2018-2020】

山本真行 (高知工科大)

- 大気レーダーによる風速・大気乱流測定データ品質向上のための信号処理手法の開発

【ROIS-DS-JOINT 2019】

山本真之 (NICT)

- データ駆動型研究促進のための機構賛同型コンソーシアムによる
研究機関・大学との接続

【ROIS-DS-JOINT 2019-2020】

梅村宜生 (ISEE)

(休憩)

17:40 -

進行: 金尾政紀

- 総合討論 (意見交換、今後の展望、等 ~18:00 閉会)